|  |
| --- |
| 情報Ⅰ　No.09**メディアとコミュニケーション** |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 | １ | 組 |  | 番 |  | 名前 |  |

2022©Assumption-Kokusai

|  |
| --- |
| 第２章１節　メディアとコミュニケーション |

１．コミュニケーションとメディアとの活用

【知識の整理】

|  |
| --- |
| ①メディアとコミュニケーション |
| （　　　　　　　　　）＝人と人とが意思や感情、思考を伝達しあうこと |
| ↑　メディアの発達によりコミュニケーションも地理的・時間的な制約を超えてきた！ |
| （　　　　　）＝情報の送り手と受け手とを媒介するもの |
|  |
| ②メディアの利用で生じる課題 |
| ・情報の拡散する速さ、影響を及ぼす範囲の理解　→　誹謗中傷、炎上 |
| ・情報の送り手と受け手との間の誤解 |
| ←メディアの特性の無理解、社会や文化の違いの無理解、伝える・読み取り技術の未熟さ |
|  |
| ③（　　　　　　　　　）＝情報を適切に活用する能力 |
| ・メディアの意味と特性を理解し、受け手として情報を正しく読み解く能力 |
| ・送り手として正確に情報を表現・発信する能力 |
| ・メディアのあり方を考え、自ら行動できる能力 |

【実習１】インターネットがなかった時代と今を比較して便利になったことは何だろう？

　　　　具体的な状況をあげて、なかった時の方法と現在の方法を比較してみよう。　　☞２つ以上

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 状況 | なかった時代 | ある時代 |
| （例）天気を調べる  （例）映画の開始時刻を調べる | （例）177に電話する | （例）スマホで調べる |

【実習２】コミュニケーションで、相手にうまく伝わらなかったり、上手に説明できなかった

　　　　り、思い違いをした例はないだろうか。自分や周りの経験を書いてください。　☞２つ以上

|  |
| --- |
| （例）大阪弁の片付けるという意味の「なおす」が東京の友人には通じなかった |

【実習３】ネットでは「フェイクニュース」とよばれるうその情報が流れることも多い。

　　　　　フェィクニュースは社会不安の時に多く流れる。「コロナウィルス」や「地震災害」などの

　　　　　ときに流れたフェイクニュースを調べて書きだしてみよう。　　　　　　　　☞２つ以上

|  |
| --- |
|  |

２．コミュニケーション手段の特性

【実習１】下のメディアをコミュニケーションの形態からそれぞれ分類してみよう

　｛　二人の対話、新聞、テレビ、Webサイト、電話、手紙、メール、ブログ、FAX｝

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 「1対多」と  「1対1」 | １対多 | 1対1 |
| 「一方向」と  「双方向」 | 一方向 | 双方向 |
| 「同期」と  「非同期」 | 同期 | 非同期 |

【実習２】LINEや携帯メールは「同期」か「非同期」のどちらと考えればいいだろう？

　　　　　それぞれの側面を書きだしてみよう。

|  |  |
| --- | --- |
| 同期の部分 | 非同期の部分 |

【知識の整理】

|  |
| --- |
| ①インターネット上でのコミュニケーションの特性 |
| （　　　　　）＝実名を公開せずに情報を書き込むことができる　←実はサーバに記録が残る |
| （　　　　　）＝SNSなどを通じて情報が拡散しやすく、削除も難しい |
| （　　　　　　　　）＝マスメディアと異なり信憑性の確認を経ないまま発信されてしまう |
|  |
| ②インターネット上でのコミュニケーションの限界 |
| ・対面のコミュニケ―ションでは、ノンバーバルコミュニケーション（言葉以外の身振り手振り、 |
| 表情、声のトーンなどによるコミュニケーション）が9割（メラビアンの実験） |
| →ネット上で感情などがより伝わるように（　　　　　）、（　　　　　　　）の利用 |

３．インターネットの発展

【知識の整理】

|  |
| --- |
| ①インターネットの歴史 |
| 起源：1969年（　　　　　　　　）＝アメリカ国防総省の資金提供で構築されたネットワーク |
| ↓　世界中のネットワークが接続、メール・Ｗｅｂなど情報流通範囲が広がる |
| 発展：21世紀（　　　　　　　　）の普及 |
| （例）光ファイバ（FTTH）、ケーブルテレビ（CATV）、5G回線（4Gの10～200倍） |
| →情報の流通量も増大、動画などの大容量データも流通 |
|  |
| ②インターネットと情報格差 |
| （　　　　　　・情報格差）＝情報通信を利用できる人と利用できない人との格差 |
| （例）若者と高齢者、都市部と地方、先進国と途上国 |

４．情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア

【知識の整理】

|  |
| --- |
| ①情報機器のパーソナル化 |
| Ｑ．昭和のアニメ（サザエさん、ちびまる子ちゃん）の家の電話はどこにある？（　　　） |
| ↓　　＝昔は電話、テレビ、音楽プレーヤ、コンピュータなど家族で１つ（共有物）だった |
| 今：電話・ネット端末は個人の私有物に（パーソナル化） |
|  |
| ②（　　　　　　　　　　）＝人々が相互に情報を発信し、共有する双方向型サービス |
| （例）ブログ、マイクロブログ、ＳＮＳ、メッセージ交換アプリ、動画共有、掲示板・・・ |
|  |

【実習１】自分はソーシャルメディアでどのような情報を見たり、発信したりしているだろう。

　　　　　見たり使っているＳＮＳサービスを書きだし、整理してみよう。☞3つ以上

|  |  |
| --- | --- |
| ソーシャルメディア | 自分が見たり、発信している情報 |
|  |  |

【実習２】ＳＮＳの多くは無料でサービスを提供している。ＳＮＳの運営会社はどうやって収益を得て

いるのだろう。調べてみよう。

|  |
| --- |
|  |

【振り返り】No.9の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを箇条書きで書きましょう。

　　　　　　☞3行以上

|  |
| --- |
|  |